

府中市の魅力を輝かせるキーパーソン

文部科学省・総務省・広島県庁から招いた3部長が、府中市を輝かせる魅力を語る。もともとある魅力と新たな魅力の発掘の可能性が見えた。



- ①出身地
- ②年齢
- ③以前にいた職場

府中市長
小野申人

地域振興担当部長

後藤 勝

- ①秋田県
- ②39歳
- ③総務省

教育部長

荻野雅裕

- ①大阪府
- ②39歳
- ③文部科学省

観光戦略推進担当部長

森川祐司

- ①広島市
- ②53歳
- ③広島県商工労働部観光課



森川部長オリジナルサイクリングジャージのバックデザイン。

場所 キテラスふちゅう

新春特別対談

しんじ 申人と語る

第2弾



市長「明けましておめでとございます。今回は、昨年4月に着任された3人の部長と「府中市の魅力」をテーマに語ろうと思います。皆さんは、それぞれ文部科学省、総務省、広島県庁から出向していただいています。仕事のことは後で聞くとして、まずは、趣味・特技をお聞きしましょう。」

森川部長「広島県庁でサイクリングを活用した観光振興を担当していたので、そのときからロードバイクに乗るようになりました。」

後藤部長「現在、スポーツ振興を担当していることもあり、府中に来てから運動を始めました。主には、ゴルフ、ウォーキングです。また、府中に来て、5月に婚姻届を出しました。」

市長「令和婚でしたね。改めて、おめでとございます。では、荻野部長。」

荻野部長「私は、5歳から剣道が続いています。府中に来て、剣道を再開しようと思っはいるんですが、もっぱらゴルフの練習ばかりになってしまっています。」

市長「明後年、市の組織改編で新たに地域振興課が設置されました。定住促進やふるさと納税の推進の他、スポーツを核としたまちづくりも担当しています。昨年、ラグビーワールドカップが開催され、全国的に盛り上がりを見せました。今年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることもあり、スポーツに注目が集まる中で、スポーツで府中市を元気にしていきたいと思っています。」

市長「具体的な今年にかけろ思はいます。」

後藤部長「今年5月に府中市でオリンピック聖火リレーが行われます。聖火が府中市を通るのは、初めてということなので、市民の皆さんと盛り上げたいと思っています。また、約10年ぶりに府中市でのマラソン大会も開催します。市内外から多くの方を呼び込んで、盛り上げたいと思っています。」

市長「森川部長はどうですか。」

森川部長「現在、観光振興を担当し、観光振興ビジョ

また、2歳になる息子と遊ぶのも趣味になりました。**市長**「府中でも楽しめる趣味でよかった。では、ここから担当している仕事の内容をお聞きしましょう。」

荻野部長「社会教育を進める部署、食育を担当する部署、文化の保存・活用を担当する部署、学校教育を所管する部署の総括、マネジメントをしています。」

市長「今後やっていきたいことはありますか。」

荻野部長「府中市は、小中一貫教育とコミュニティ・スクール(CS)を柱に、教育を進めています。その成果をさらに出すため、学習環境や内容を充実させたいと思っています。例えば、小中一貫教育であれば、カリキュラムの特例を使った新たな科目の創設、CSであれば、昨年、市内全校の導入を終えたので、今後はそれぞれの良いところを各学校が取り入れ、互いに高みを目指していけるように思っています。また、ICTの環境整備も進めたいです。」

ンの策定に携わっています。この中で、今後5年間の府中市の観光振興にどう取り組んでいくかという方向性を示していきます。もちろん、市役所だけでなく、府中市観光協会、府中地区・上下地区などで活動されている地域団体と連携しながら、いかに府中市観光を市外から誘客していくかという原型をつくっていきます。」

市長「まさに今、観光ビジョンを策定中で、多くの方に協働してもらおうことで、新たな府中市観光が生まれてくるはず。市内ではイベントの開催も多く、観光×教育、観光×農林など既にあるものに観光の要素を絡めることで、府中に多くの人が来てもらえるようになってほしいところですね。」

森川部長「府中市内には、歴史、文化、ものづくりなど観光で活用できるさまざまな資源がありますが、ビジョン策定の委員からは、観光客目線で見ると、よそにある観光資源と比べられしてしまうため、府中市らしさを際立たせるよう、磨き